

「サーベイメータ保有状況」に関するアンケート集計結果

公益社団法人東京都診療放射線技師会 災害対策委員会

【調査趣旨】

東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所の事故への対応として、公益社団法人東京都診療放射線技師会（以下、本会）では災害直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動、東京電力福島第一原子力発電所5・6号機救急医療室への人材派遣、被ばく相談など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。その際に、多くのサーベイメータ、また個人線量計の需要が発生しました。

サーベイメータなどに関しては、本会での購入も検討していますが、まずは本会に所属されている会員の施設でのサーベイメータ保有状況、また各施設での災害対策につきましても状況調査を行わせていただきました。

【実施方法と回収率】

配布・回収方法：郵送

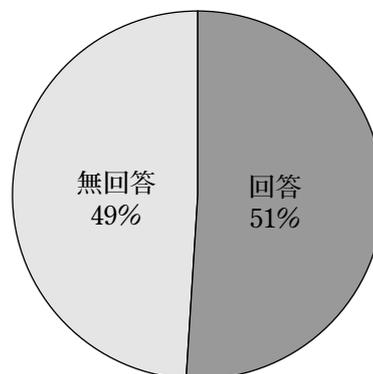
依頼先：施設技師長宛

実施期間：2013年8月27日～9月30日

アンケート送付施設数：111施設

回答施設数：57施設

回答率：51%

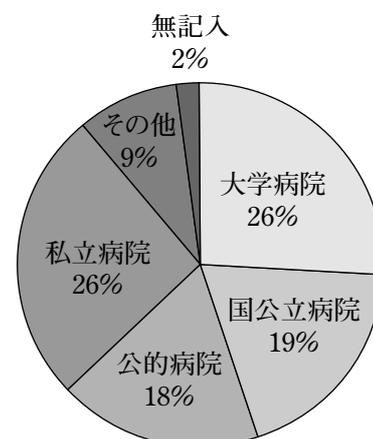


【結果】

設問1. 施設について

1. 貴施設の経営体について

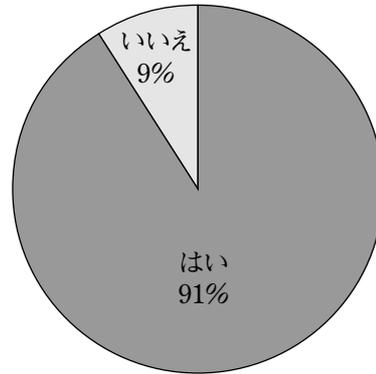
- | | |
|-------------------------|------|
| (1) 大学病院 | 15施設 |
| (2) 国公立病院（国立・市立・町立など） | 11施設 |
| (3) 公的病院（済生会・日赤など） | 10施設 |
| (4) 私立病院（医療財団・個人・企業立など） | 15施設 |
| (5) その他 | 5施設 |
| (6) 無記入 | 1施設 |



設問2. サーベイメータ保有状況について

1. サーベイメータを保有しているか

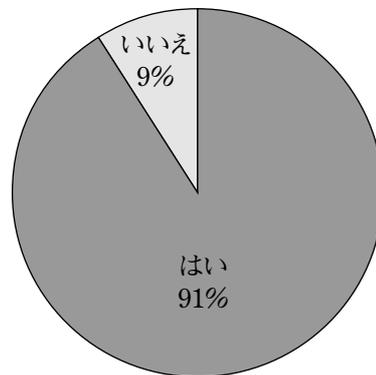
- ・はい：52施設
- ・いいえ：5施設



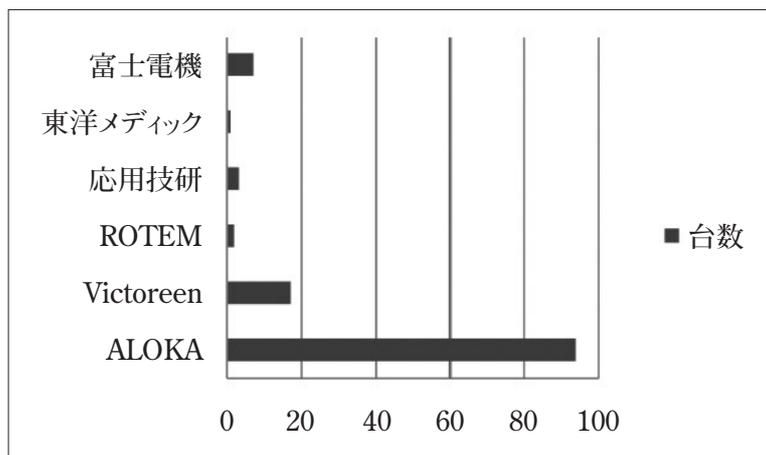
2. 保有の有無とメーカー別台数

(1) 電離箱式サーベイメータを保有しているか

- ・はい：52施設
- ・いいえ：5施設

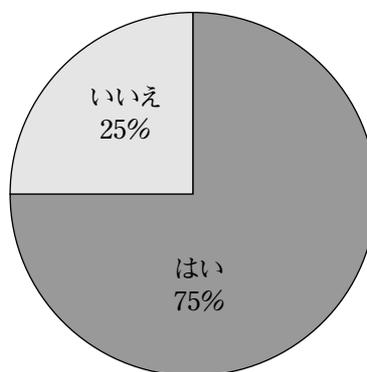


メーカー別台数 (総台数 124台)

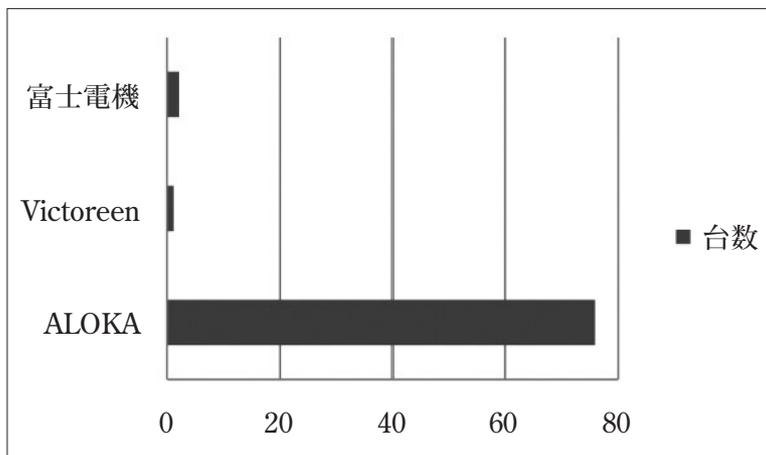


(2) シンチレーション式サーベイメータを保有しているか

- ・はい：43施設
- ・いいえ：14施設

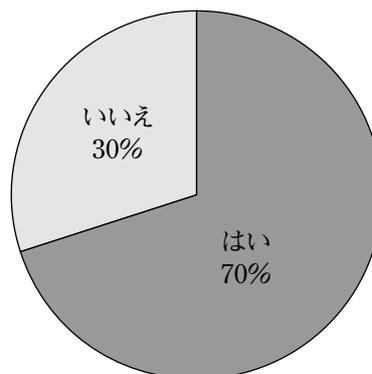


メーカー別台数 (総台数 79台)

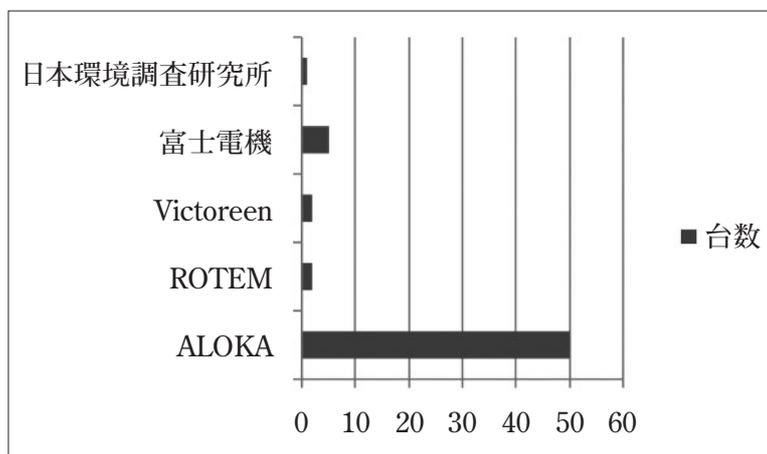


(3) GM管式サーベイメータを保有しているか

- ・はい：40施設
- ・いいえ：17施設



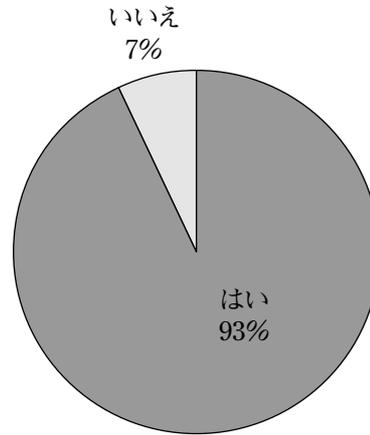
メーカー別台数 (総台数 60台)



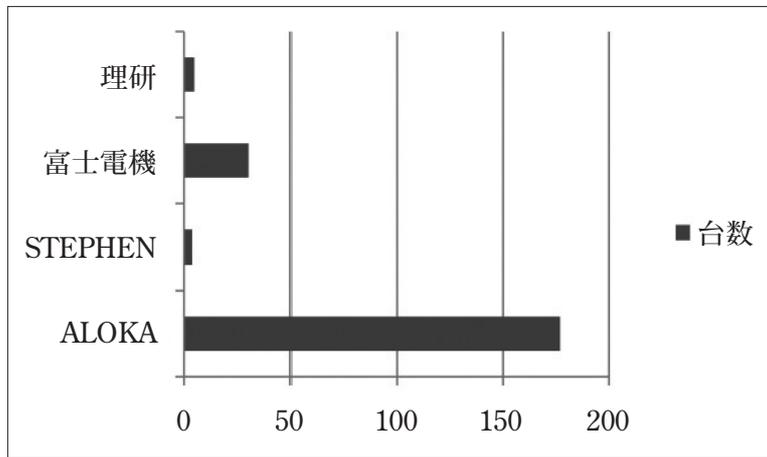
設問3. 個人線量計保有状況について

1. 個人線量計を保有しているか

- ・はい：53施設
- ・いいえ：4施設



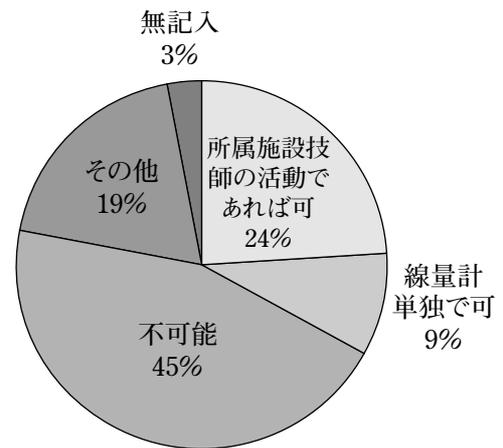
メーカー別台数 (総台数 216台)



設問4. 放射線測定器の貸出しについて *複数回答有

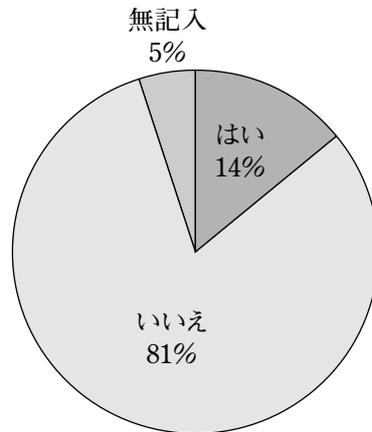
1. 貸出しについてどのような考えか

- (1) 所属施設技師の活動であれば、貸出し可能である 14施設
- (2) 線量計単独での貸出しが可能である 5施設
- (3) 貸出しは不可能である 26施設
- (4) その他 11施設
 - ・状況・ケースによる
 - ・要請による
 - ・管理者・施設の判断・対応
 - ・保証があれば可能
 - ・ポケット線量計は可能 サーベイは不可
 - ・サーベイメータに関して可能
 - ・NBC (Nuclear Biological Chemical) 物品のみ
 - ・未定
- (5) 無記入 2施設



2-1. 東京電力福島第一原子力発電所の事故に関連した貸出しを行ったか

- ・はい：8施設
- ・いいえ：46施設
- ・無記入：3施設



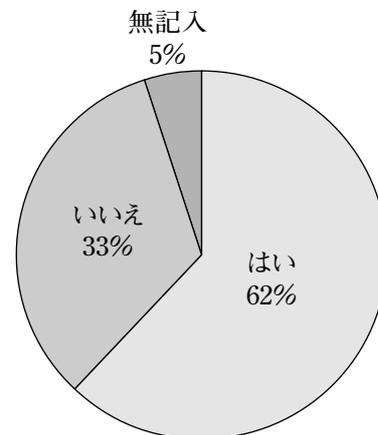
2-2. 貸出し先はどこか

- ・東京都
- ・県の保健所
- ・日本診療放射線技師会
- ・医師派遣にポケット線量計の貸出し
- ・当院技師のサーベイ派遣、医学物理士の土壌汚染

設問 5. 放射線災害時の対応について

1. 放射線災害時に対して備えを行っているか

- ・はい：35施設
- ・いいえ：19施設
- ・無記入：3施設

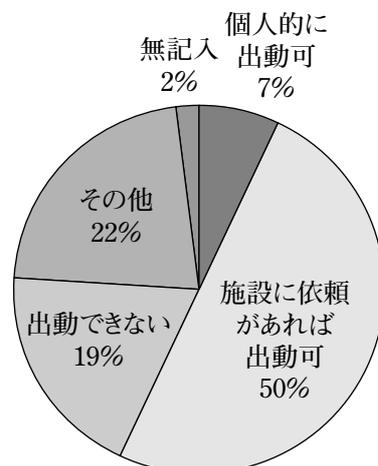


2. 放射線災害マニュアルを作成しているか

- ・はい：35施設
- ・いいえ：19施設
- ・無記入：3施設

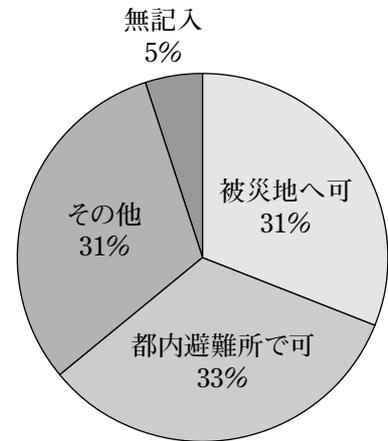
設問 6. 将来、放射線災害が発生した場合の施設対応について *複数回答有

- | | |
|--------------------|------|
| (1) 個人的に出動できる | 4施設 |
| (2) 施設に依頼があれば出動できる | 29施設 |
| (3) 出動できない | 11施設 |
| (4) その他 | 13施設 |
| ・ 状況・ケースによる | |
| ・ 要請による | |
| ・ 管理者・施設の判断・対応 | |
| ・ 未定 | |
| (5) 無記入 | 1施設 |



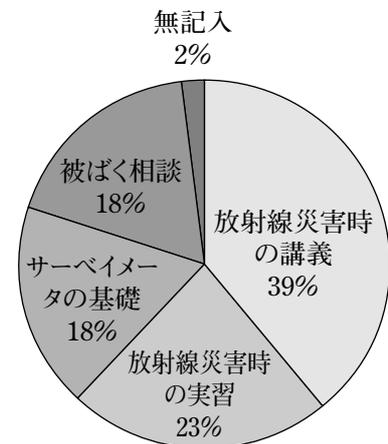
設問7. 将来、放射線災害が発生した場合の施設対応の内容について
*複数回答有

- | | |
|-------------------------------------|------|
| (1) 被災地へのスクリーニング要員派遣は希望者がいれば可能である | 21施設 |
| (2) 都内避難所におけるスクリーニング活動は希望者がいれば可能である | 22施設 |
| (3) その他 | 21施設 |
| ・ 状況・ケースによる | |
| ・ 要請による | |
| ・ 管理者・施設の判断・対応 | |
| ・ 不可能 | |
| ・ 未定 | |
| (4) 無記入 | 3施設 |



設問8. 東京都診療放射線技師会災害対策委員会が主催する講習会の内容について興味があるテーマについて *複数回答有

- | | |
|-----------------------------|------|
| (1) 放射線災害発生時の対応についての講義 | 40施設 |
| (2) 放射線災害発生時の対応についての実習 | 24施設 |
| (3) サーベイメータの基礎知識（原理～使用方法） | 19施設 |
| (4) 被ばく相談 | 19施設 |
| (5) その他 | 2施設 |
| ・ 東日本大震災における実際の病院の対応と課題について | |



【調査まとめ】

多くの施設でサーベイメータを保有しているが、GM管式サーベイメータの保有率は7割と他のサーベイメータと比較すると低いことが分かった。また総台数も電離箱式サーベイメータは124台であるが、それに対してGM管式サーベイメータは60台と半分以下であった。

サーベイメータの貸出しに関しては、所属施設の技師が活動する場合、およびサーベイメータ単独を合わせて約3割の施設が可能との回答であった。東京電力福島第一原子力発電所の事故に関連した貸出しの実績は8施設であった。

放射線災害に対しては6割の施設で備えを行っていることが分かった。そして、出動に関しては、施設に依頼があれば可能であるとの回答が半数であった。また、スクリーニング活動は複数回答で、被災地、都内避難所で可能との回答が3割であった。

【まとめ】

このたびはご多忙中、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

この調査結果をもとに放射線災害時の資機材の準備・調達方法、および支援活動について検討を進めて、現在作成中の本会放射線災害対応マニュアルの参考にさせていただきます。また、設問にありました講習会についても、平成26年3月8日（土）に開催することにしました。ぜひともご参加いただけたら幸いです。

委員会に対してのご意見などは、災害対策委員会 saigai@tart.jpまでお願いいたします。今後とも災害対策委員会に、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。